村田裕之　講演

＜FP フェア 2008＞
これからの団塊世代のライフプランはどうなるか
－長寿社会の未来と現実、高齢者の活躍の場と FP の役割－

これから必要なのは定年後の「ライフプラン」ではなく、定年の有無に関わらず一生取り組める「ライフワーク」だ。FP は「ライフプランの助言者」より「ライフワーク探しの応援団」になれ。超高齢社会で求められる3つの要素と FP の新たな役割を解説しました。

（2008 年 10 月 10 日）

（参加者の声）

- 団塊世代に向けたＦＰの役割がわかり、有益な研修でした。
- わかりやすい口調で、ＦＰのあり方を教わった気がした。
- 年齢によってセグメント分けするのがタブーになりつつあるというのは、目からウロコだった。
- ６４才の自分が講演通りの生き方をしていることを改めて認識し、確信しました。非常に参考になりました。
- わかりやすい話で、内容も十分。発想の転換もとても良かった。又、お話を聞いてみたいと思う。
- 目からウロコというか、斬新な観点からの話でした。
- 最近何気なく考えていたこと、感じていたテーマであり、今後の自分のＦＰとしての活動の指針となる内容でした。大変よかったです。
- 大変興味深い話でした。確かにこれから寿命が長くなることから、考えるべきことが多くなることが良く分かりました。ありがとうございました。
- ＦＰの役割について「高齢化社会」に添った内容だったと思います。特に「ライフワーク探しの応援団」は印象に残りました。
- 普段、気づかないことを、いろいろ気づかせてもらえることが多く有意義であった。
- 今までと違った発想でＦＰの役割を考えることができました。
- 期待以上の内容で満足しています。
- 医学知識などが聞けて、おもしろかった。話がとても楽しかった。
- 定年前の方とお話しさせていただく機会が多いので、とても役に立ちました。ありがとうございます。
- ビジネスですごく生かせることができ、とても嬉しく思います。会社を経営している立場ですが、勉強になりました。